

北海道登別市「議会改革の取組について」

登別市議会は、2007年から議会改革に取り組み、15年間の実績が評価され、議会改革度調査2021総合ランキングにおいて全国第2位となっている。

視察項目の「議会サポーター制度」については、市民サポーターと専門的サポーターの設置により、議会の政策形成機能や審査機能を高めている。市民サポーターは、一般公募とし、委員会での議案などの審査または調査の参考意見を述べることによ

り、市民協働を目指すための仕組みづくりとして導入されている。また、専門的サポーターは、議長が必要と認めるときは議案審査の参考意見を述べることができ、常任委員会

の審査などでも専門的意見を取り入れている。

「オンライン委員会の運用」については、全議員にノートパソコンが貸与され、一般質問でのパワポイン

「議会業務継続計画（BCP）の運用」については、災害発生時の議会の役割を明確化し、策定後の取組についても議会運営委員会主催による防災訓練の実施や連絡網の形成など、議員防災意識の向上が感じられた。本市議会としても学ぶべき取組であり参考となった。



▲登別市議会



▲登別市議会辻弘之議長（中央）と

広島県呉市「議会図書室の機能強化に向けた取組について」

広島県神石高原町「ドローンを活用した防災対策の取組について」

広島県竹原市「自主防災組織に対する行政の支援や組織運営の推進に向けた取組について」

●呉市 あるべき議会図書室像を模索するため、その機能強化に向けた取組について視察を行った。蔵書の充実・資料収集のほか、他図書館との連携、司書が介在する議員への情報提供やレファレンス機能の向上など、地域課題の解決に向けた知的拠点の整備がなされており、大いに参考となった。本市議会においては、いかに調査インフラを整えるかが課題と考察した。

●神石高原町 近年さまざま分野でドローンの活用が試行されているが、防災における取組の現在地を探

るため調査を行った。高齢化などにより、災害対応が困難な地域でドローンを活用し、災害時の課題解決を試みる事業であった。操縦の担い手育成や運用体制は現実的な取組内容で日常利用に展望もあるが、関係法令による制限や、ドローンの性能に課題も多い。

●竹原市 自主防災組織のあり方について、本市との比較検討のため調査を行った。自主防災組織にみる課題に共通項は多いが、組織の設立方や、事業実施に係る予算のあり方に相違点が見られた。



▲呉市議会図書室



▲竹原市役所